

学年	3	科目	留学生日本語	講義	通年	学習教育目標	担当	高澤 啓子
学科(1年は 1年)	C留学生	科目 分類	Japanese for International	選択	2単位	4		Keiko TAKASAWA
概要	日本での留学生生活を送る上で必要なコミュニケーション能力と、日本の高等教育機関で学習研究活動を行うために必要な日本語能力を養う。 日本語で表現されていることを理解し、情報同士の関係を理解し、理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈を導く能力を養う。							
科目目標 (到達目標)	講義や学習活動に必要な日本語を正確に理解し、適切な対応が出来る。知識として得た日本語を実際に使用してコミュニケーションが出来る。教科書の読解、講義の聴講、実験・実習を円滑に行うことが出来る。「日本(人・社会)」という異文化を理解しカルチャーショックを克服出来る。							
教科書 器材等	仁科喜久子他著『初級文型で学ぶ科学技術日本語』(スリーエネットワーク) ¥2,000、佐々木瑞枝他『大学で学ぶためのアカデミックジャパニーズ』(The Japan Times) ¥2,500、その他必要に応じて教員が用意した教材・資料							
評価の基準と 方法	前期・後期(試験50%, 課題・提出物30%, 出席・授業態度20%) 学年末評価(前期40%, 後期40%, 選択課題20%)							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	自己紹介。授業概要、課題、評価基準等の説明。地震と防災について。						
第2回		第1課 パーソナル・コンピュータと日本語 カタカナの言葉						
第3回		日本語の文字コード 専門語・文の特徴						
第4回		第2課 日本科学未来館ホームページを見る 論文スタイル・自動詞と他動詞						
第5回		日本科学未来館へ行く前に 研究発表のスタイル						
第6回		第3課 ワードプロソフトで日本語文書を作成する コンピュータ用語						
第7回		かな漢字変換 ワードプロセッサの日本語入力						
第8回		× 前期中間試験						
第9回		第4課 気温の変化 複合動詞、原因・理由・例示						
第10回		気象庁のホームページ 単位の読み方						
第11回		第5課 新幹線 定義、比較、受身形、数式の読み方						
第12回		TGV 図形を表す言葉						
第13回		第6課 ロボット 助詞相当句 助詞相当句 使役形						
第14回		ヒューマノイド・ロボット 語の構成要素						
第15回		第7課 音声情報工学 可能形、条件の表現、構成、列挙						
第16回		× 前期末試験						
第17回		音声認識の応用 言葉の使い分け						
第18回		テーマ学習 高専祭参加・展示発表準備						
第19回		高専祭参加・展示発表準備						
第20回		高専祭参加・展示発表準備						
第21回		高専祭参加・展示発表準備						
第22回		第8課 新エネルギー 根拠を示し事実を述べる表現、複合名詞						
第23回		省エネとハイブリッドカー 座標を読むときの言葉						
第24回		第9課 地球と温暖化 引用・伝聞・仮定・判断・結果を表す表現						
第25回		× 後期中間試験						
第26回		先進国の責任 変化の表現						
第27回		第4課 情報の読み取り 掲示板の情報						
第28回		教務からの連絡						
第29回		授業に関する連絡						
第30回		第10課 トラブルへの対処 学校でのトラブル						
第31回		日常生活のトラブル						
第32回		いろいろな施設の利用						
第33回		× 学年末試験						
第34回		インターネットによる情報検索						
オフィスワー	第一回授業で説明							
授業アンケート への対応	(今年度新規入学)							
備考	1. 授業に関する質問はメールでも受け付ける 2. 留学生の習熟度に応じてシラバス、教科書等の変更を行うことがある							
更新履歴	20130315 新規							